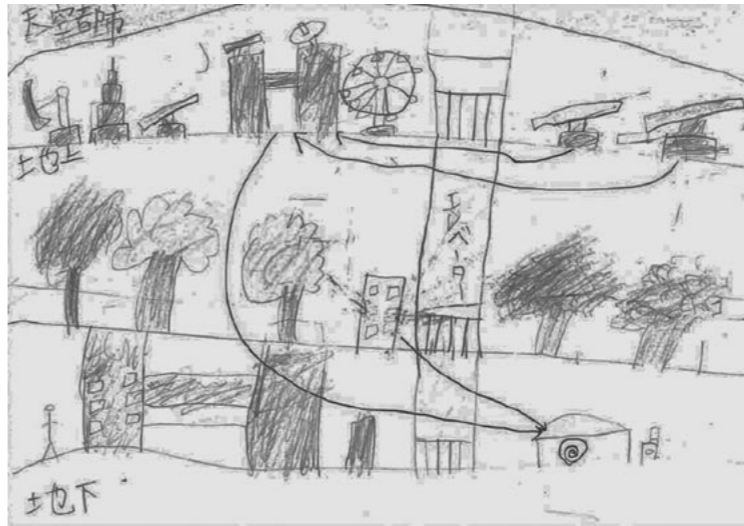


沿岸部の大規模土木事業を体感

「未来のT&I&Iコンテスト」
入賞者見学会

土木学会一〇〇周年記念事業の一環として、未来のT&Iコンテストが開催され、I（アイデア）部門では「自分たちが住みたい未来の社会」を夢見て、小学生を中心とした一般の方からアイデアを広く募集し、優秀五作品が選ばれた。

日建連は、五つのアイデアを実現するため、それぞれに四名の土木エンジニアを加えた検討チームを編成した。未来プランナー（アイデア提案者）近藤泰暉くんをリーダーとしたチーム近藤「天空都市と地下都市」は、日建連土木技術開発部会（部会長 岩永克也・西松建設）に所属する土木エンジニアが技術的検討を行った。「天空都市と地下都市」は、近藤くんの地元岡崎市をフィールドにして「未来の故郷」をコンセプトに、地上には自然を保存し、住宅や学校といった生活空間などの最低限のインフラを整備し、遊園地や美術館などが集まる施設は天空に配置。そして、産業部門は地下に配備して、



近藤くんのイメージイラスト。



チーム近藤の提案した「天空都市と地下都市」。

故郷だけでなく地球の自然も守っていくというものである。

四カ月にわたる技術的検討の中で、数多くの土木技術に触れた近藤くんは、実際の土木事業を体験してもらうため、近藤くんが住む岡崎市近郊で行われている大規模土木事業の見学会を実施した。

浜松市沿岸域 防潮堤整備事業

見学したのは、東日本大震災による被害を受

け、甚大な津波被害が想定される南海トラフ巨大地震に備え、浜名湖から天竜川河口までの約一七・五キロメートルにかけて防潮堤を整備する事業である。

浜松市防潮堤資料室にて工事関連のパネルやDVDを視聴し、整備事業を通して遠州灘の自然環境や海岸防災林の植栽、地震・津波に対する防災について説明を受けた。

続いて防潮堤を施工している前田・須山JV（中島所長）と西松・中村組JV（加藤所長）の大規模なCSG製造プラントや築堤作業の大型重機を見学し、施工現場の規模や敷設される資材の質感を体感するとともに、大津波から沿岸域を守る防潮堤プロジェクトの意義を学んだ。

磐田ウインドファーム

エコ・パワー株式会社のご協力により、磐田市に設置されている風力発電設備の内部を見学した。主塔の強度確保のために、設備はすべて磁石で固定しているなどの説明があった。



風力施設主塔内。



浜松市の担当者より説明を受ける近藤くん。



現場を体感する近藤くん。

近藤泰暉くんの感想

今回の見学会は、自分が知らないことばかりでもとても勉強になりました。特に、防潮堤で見たM-Yミキサがすごいと思いました。大ききの違う材料をただかき回すのではなく、上から下に落とすことで混ぜることができるなんて考えた人は天才じゃないかと思いました。

また、ウインドファームでは、風車の中を見せってもらうことができました。中は想像していたよりも複雑で狭い中でもエレベーターがあっぴょびつくりしました。この見学会で学んだことを活かして、これから中学校で頑張ろうと思っています。